

2022年度 日本泌尿器科学会 (JUA)/米国泌尿器科学会 (AUA) 交流プログラム

2022 JUA/AUA Academic Exchange Program 参加報告

安 東 聡 (自治医大)

私は2019年10月にJUA/AUA Academic Exchange Programへの派遣が決定しました。しかしCOVID-19のために派遣が2年延び、2022年5月ようやく派遣に至りました。ご尽力いただいた日米の関係各位にこの場を借りて感謝申し上げます。また留守の間ご迷惑をおかけ

した自治医大医局員の方々にも御礼申し上げます。

私は同じく2019年に派遣が決定された宮澤慶行先生(群馬大)と行動を共にしました。まず5月13日からAUA2022 (@New Orleans)に参加しました。久しぶりに参加した国際学会も大いに刺激を受けました。2020年に派遣が決定した竹下英毅先生(埼玉医大)、竹澤健太郎先生(大阪大)にもお会いして、既に済まされた施設見学の貴重な経験を伺い、この後のNewYork-Presbyterian Weill Cornell Medical Center (Chair: Dr. Larissa Rodriguez)での施設見学に胸が躍りました。また会期中にWeill Cornell MedicineのCocktail Receptionに招待され、この後の施設見学でお世話になる先生方へのご挨拶が叶いました(図1)。

5月17日にNew Yorkへ移動し、翌日から施設見学が始まりました。男性不妊症の分野ではあまりにもご高名なDr. SchlegelとDr. Goldsteinが在籍する病院です。実際にお会いできて大変感動しました。施設見学は主に手術を中心に行いました。ロボット手術はRARPやRARC、我が国では保険未収載のRobot-assisted simple prostatectomy、男性不妊関連では低位結紮術やcTESE、epivasostomyを見学しました。他にDr. SchlegelとDr. Goldsteinの外来見学や顕微鏡手術のエキスパートであるDr. Liと縫合練習する機会を得ました(図2)。男性不



図1 AUAのcocktail receptionにて。左から著者, Dr. Li, Dr. Ramasamy, Dr. Miyazawa.



図2 縫合練習中の著者



図3 男性不妊症チームとの会食



図4 New Jersey Urology, Dr. Sussman を囲んで.

妊チームによる夕食にもご招待いただき、親交を深めることができました(図3).

プログラムのスポンサーである Teleflex 社の Urolift を見学する機会も頂きました。マンハッタンから車で2時間程度のところにある New Jersey Urology で Dr. Sussman の手技を見学しました。手技もさることながら、アメリカのクリニックを見学できたのは有意義でした(図4).

今回の見学ではレジデントたちに、特に Dr. Peter Y



図5 レジデント部屋での一枚

Cai に大変お世話になりました(図5)。金曜日の夕方のカンファレンス後にレジデント達とウイスキーを飲みながら Nintendo Switch で対戦しました。多忙な勤務の合間にも楽しむ姿勢に感心しました。

留学経験のない私にとって、本プログラムから多くの刺激を受けました。生涯忘れられない経験となりました。ありがとうございました。